＜貸借対照表注記事項＞

１．運営費交付金から充当されるべき退職手当の相当額は1,947,471,834円

２．運営費交付金から充当されるべき賞与手当の相当額は169,666,947円

３．ＰＦＩによるサービス部分の対価の支払予定額

⑴　貸借対照表日後一年以内のＰＦＩ期間に係る支払予定額は18,585,192円

⑵　貸借対照表日後一年を超えるＰＦＩ期間に係る支払予定額は710,883,594円

なお、支払予定額は、物価変動に伴い改定されることがあります。

＜キャッシュ・フロー計算書注記事項＞

１．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金勘定	1,481,897,421円
うち定期預金	15,410円
資金期末残高（差引き）	1,481,882,011円

２．重要な非資金取引

現物寄附による資産の取得

工具器具備品	550,000円
図書	433,005円
消耗品等	8,220,389円
合計	9,203,394円

＜重要な債務負担行為＞

１．ＰＦＩ事業　（単位：円）

件名	契約金額	翌期以降支払金額
学生寄宿舎整備等事業	2,927,941,696	2,621,711,008

ただし、上記の翌期以降支払金額には貸借対照表に計上された額も含みます。

２．その他重要な契約　（単位：円）

件名	契約金額	翌期以降支払金額
（上杉）基幹整備（附属小学校等給排水設備）設備設計業務	12,870,000	12,870,000
（青葉山）アクティビティ・コモンズセンター改修設計業務	18,370,000	18,370,000
（青葉山）アクティビティ・コモンズセンター改修設備設計業務	19,800,000	19,800,000
（上杉）附属小学校屋内プール新営その他工事	426,745,000	261,745,000

＜国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト＞

１．国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト　（単位：円）

Ⅰ　業務費用		
⑴　損益計算書上の費用	3,640,938,855	
⑵　（控除）自己収入等	△1,136,288,858	
業務費用合計		2,504,649,997
Ⅱ　資本剰余金を減額したコスト等		506,588,040
Ⅲ　機会費用		
国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	315,783	
政府出資の機会費用	333,413,623	333,729,406
Ⅳ　国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト		3,344,967,443

２．機会費用の計上方法

⑴　国等の財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用の計算方法

近隣の賃貸借料等を参考に計算しております。

⑵　政府出資等の機会費用の計算に使用した利率

「国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコストの注記における機会費用の算定に係る利回りについて（通知）」（令和７年４月11日付け７文科高第28号）に基づき、1.485％で計算しています。

＜減損会計関係＞

減損を認識した資産

⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要　（単位：円）

用途	種類	場所	帳簿価額
競泳用プール機械室	建物	宮城県仙台市青葉区	120,187
競泳用プール囲障	構築物	宮城県仙台市青葉区	1,397,826
中学校プール更衣室	建物	宮城県仙台市青葉区	1,043,482
中学校プール囲障他	構築物	宮城県仙台市青葉区	2,525,846

⑵　減損の認識に至った経緯

プール関係の建物及び構築物について、既存の競泳用プール、小学校プール、中学校プールの老朽化が顕著であるため、小学校プールに集約且つ改修する方針を令和５年５月26日の大学運営会議で決定しました。これを受け、令和６年度において競泳用プール及び中学校プールを閉鎖したため、減損を認識しております。

⑶　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産毎の内訳　（単位：円）

用途	種類	損失処理額	損失相当処理額
競泳用プール機械室	建物	0	120,186
競泳用プール囲障	構築物	857	1,396,966
中学校プール更衣室	建物	1,043,480	0
中学校プール囲障他	構築物	682,927	1,842,915

⑷　回収可能サービス価額の算定方法の概要

市場性がなく、備忘価額にて算定しております。

＜重要な後発事象＞

該当事項はありません。